

1 基本情報

事業名称	現在からして未来へ「いのち♡ありがとう」プロジェクト				
事業目的	中区地域計画の「子どもの健やかな学び・育ちの確保」などをめざし、次のことに取り組む。 ○若年出産した保護者や多胎児の保護者が、地域とつながりを持ち子育てに自信を持てるよう子育て支援を強化する。 ①若年出産した保護者の交流の機会を設ける。 ②多胎児の保護者の交流の機会を設ける。 ○関係機関と連携して、いのちの大切さを伝える。				
事業概要	小中学校の児童・生徒に対する性教育の一環として、「いのちの健康教育」を学校が円滑に実施できるよう、継続して協力を行う。若年の保護者に対しては、地域の見守りと併せて、子育てに関する正確な情報を伝えていく。中区内の小・中学校・地域等と連携し、自分が価値ある存在であると感じ自分らしく生きていけるように、いのちの大切さを伝え、自尊感情を高める。また、自分も相手も大切にできる関係構築が必要なことを伝え、保護者や教職員にも日々の生活の中で伝えてもらう。 ○子どもたちにいのちの大切さを伝える取組は、学校で定着してきている。そのため保健センターは、この取組が継続できるように、さまざまな機会で側面支援を行う。 ○若年出産した保護者への支援 年4回の教室開催(baby∞star) 保護者自身が楽しみながら参加できる内容とし、保護者間の交流を進めながら、地域子育て支援関係者と関係を構築する。 ○多胎児の保護者を対象に年4回の教室開催(ツインエンジェルズ) 保護者間の交流の機会を設け、子育ての悩みや保護者の精神的な支援を図る。 ○「大切な赤ちゃんの命を守る5つの約束」「乳幼児を事故から守る心得」のリーフレットを作成し、4カ月児健診等で配付する。				
実施主体	中区役所 中保健センター	実施場所	中区内小・中学校、中区役所	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	対象者（多胎児や若年出産の保護者）のうち、電話や面接を行った人の割合		R4	R5	R6	R7
		目標	70.0%	70.0%	80.0%	80.0%
		実績	66.0%	76.0%	65.0%	95.0%
成果指標	堺市は子育てしやすい都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	63.0%
		実績	43.9%	58.4%	50.8%	52.4%

3 事業評価

決算額		170,490		円	
①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○
若年の保護者同士の交流を行うことで、社会参加のきっかけを提供しており、支援者とのつながりをもてる。また、多胎児ならではの悩みを共有できる場を確保し安心した子育てができるように支援できる。区主体で当事業を実施し、交流を促進し孤立化を防ぐことで子育て支援につながっていることから、事業を実施する妥当性が高い。		本事業は性に関する教育の必要性やいのちの大切さについて、区内の小・中・高校・子ども園や児童養護施設等と連携して啓発を実施している。これにより、多くの児童や生徒等に対して一度に情報を届けることができ、幅広い対象者への普及啓発を効率的に実施できていることから、費用対効果が高い。		いのちの大切さについての周知が継続して実施できた。また主任児童委員に加え、区独自の取組として本事業に、地域の多胎児育児経験者を講師として招くことで子育ての孤立化を防ぎ、地域で安定した子育てができるように、若年の保護者や多胎児の保護者を地域につないだ。baby∞starやツインエンジェルズについては、参加者からの意見を聞きながら、ニーズに合った取組と育児の相談支援ができた。事業参加者は減少しているが、参加できていない対象者の方に対しても、電話や面談を行う中で必要な支援につなげる対応ができています。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。	
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○		
区内の小・中・高校・子ども園や児童養護施設等と連携することで、性に関する教育の必要性が地域や幅広い年齢層の子どもたちに認識されている。主任児童委員の参加や地域の多胎児育児経験者を講師とすることで、地域交流や育児スキルの活用にもなっており、連携の度合いが高い。		「いのちの健康教育」を学校が円滑に実施できるよう、連携して取組ができた。地域関係者とのつながりや子育てに関する正確な情報を伝えることで子育ての充実と、専門職が関わることで孤立化を防ぎ子育てしやすい都市につながっており、計画における「子どもの健やかな学び・育ちの確保」の取組に寄与している。			

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	多胎児や若年出産の保護者へ、個別支援はできているものの、事業参加者の減少がみられている。	今後の方向性	継続
対応方針	妊娠中より案内を行っているが、早期より支援を開始し切れめなく支援ができるよう繰り返し様々な機会・媒体を用いて啓発を行い事業参加者増加につなげる。		